

あの日から四年。福島の傷はまだ癒やされない。だからこそ、原発に依存しない地域の未来図を、描き始めてもいいころだ。私たちも、原発のある町も。

四年前のきょう、元福井県美浜町議の松下照幸さん(61)は、東日本大震災の映像を見て「福島原発が大変なことになるぞ」と直感したという。

原発銀座と呼ばれる福井県若狭地方で、反原発を唱え続ける少数派。「原発は地震に弱いと常々思つていていたが、想像を絶する事故が起きた」と振り返る。

ふるさとはどうなるの

「地震にやられたら、おしまいや」という近所の声を、松下さんもしばしば聞いていた。

「いつかあること」。原発のある町で暮らす人なら、そんな不安にどうわることがあるはずだ。予感は現実になつたのだ。

2015・3・11 中

福島原発の被災者は、放射能でふるさとさえも失つた。あまりに過酷な現実の渦中にある。再び原発と共に存できるとは思つまい。

他の原発立地地域にも、もはや原発の安全神話を信じる人はいないだろう。

だが、原発がなくなれば、仕事は、暮らしはどうなるの。

過疎化する町は、老後はどうなつてしまふのか。

「原発がある不安」と「原発がなくなる不安」のはざまで、住民は今も揺れ続けてい

る。

松下さんは、かつて

は原発推進派に身を置いた。しかし、一九八六年の Chernobyl 原発事故を境に、考え方を改めた。

そして三年前の九月、歐州視察の成果を踏まえ、美浜町長に宛てた脱原発の提言書をしたためた。

その中で次のように書いている。

「都市部の多くの人々は、

「危険な原発は止めればよい」という思いなのでしょうが、私にはそうはいきません。原子力発電所で働いている人たちの生活があります。自治体の財政問題もあります。

それらを解決しようとせずにただ「止めればよい」と言うのであれば、私は都市部の人たちに反対旗を翻さざるを得ません。

少なくとも先進国では、原発は割に合わないという認識が進んでいます。四十年という原子炉の法定寿命が守られる限り、近い将来、立地地域の暮らしの不安を解消

国内の原発はゼロになる。少なくとも先進国では、原発は割に合わないという認識が進んでいます。四十年という原子炉の法定寿命が守られる限り、近い将来、立地地域の暮らしの不安を解消

され、建て替えの費用もかかる。原発大国フランスさえ、新設に一の足を踏むような状況だ。

松下さんは、脱原発依存のキーワードとして、「地産地消」では

なく、「地消地産」を提唱する。

インフラも整えられる。

過疎地にある原発で大量につく

った電気を、はるかな都会に送り

込むのとは、正反対の考え方だ。

近々、同じ若狭のおおい町で、

電力事業者は、原発再稼働の勢いに乗り、老朽化した小型原発を

廃炉にし、大型に建て替える計画

を進めている。

ところが、3・11以降、世界的

け入れて、一時的に雇用を生み出

すことはできるだろう。しかしそ

百世帯に一社の割合で、そのよ

うな熱供給の会社ができれば、工

業大企業が地域で回る。送

電網の必要な発電事業とは違い、

給湯の配管網なら地元で無理なく

いけ的体質から抜け出せない。

松下さんは、脱原発依存のキ

ーワードとして、「地産地消」では

なく、「地消地産」を提唱する。

インフラも整えられる。

過疎地にある原発で大量につく

った電気を、はるかな都会に送り

込むのとは、正反対の考え方だ。

近々、同じ若狭のおおい町で、

電力事業者は、原発再稼働の勢い

に乗り、老朽化した小型原発を

廃炉にし、大型に建て替える計画

を進めている。

ところが、3・11以降、世界的

け入れて、一時的に雇用を生み出

すことはできるだろう。しかしそ

百世帯に一社の割合で、そのよ

うな熱供給の会社ができれば、工

業大企業が地域で回る。送

電網の必要な発電事業とは違い、

給湯の配管網なら地元で無理なく

いけ的体質から抜け出せない。

松下さんは、脱原発依存のキ

ーワードとして、「地産地消」では

なく、「地消地産」を提唱する。

インフラも整えられる。

過疎地にある原発で大量につく

った電気を、はるかな都会に送り

込むのとは、正反対の考え方だ。

近々、同じ若狭のおおい町で、

電力事業者は、原発再稼働の勢い

に乗り、老朽化した小型原発を

廃炉にし、大型に建て替える計画

を進めている。

ところが、3・11以降、世界的

け入れて、一時的に雇用を生み出

すことはできるだろう。しかしそ

百世帯に一社の割合で、そのよ

うな熱供給の会社ができれば、工

業大企業が地域で回る。送

電網の必要な発電事業とは違い、

給湯の配管網なら地元で無理なく

いけ的体質から抜け出せない。

松下さんは、脱原発依存のキ

ーワードとして、「地産地消」では

なく、「地消地産」を提唱する。

インフラも整えられる。

過疎地にある原発で大量につく

った電気を、はるかな都会に送り

込むのとは、正反対の考え方だ。

近々、同じ若狭のおおい町で、

電力事業者は、原発再稼働の勢い

に乗り、老朽化した小型原発を

廃炉にし、大型に建て替える計画

を進めている。

ところが、3・11以降、世界的

け入れて、一時的に雇用を生み出

すことはできるだろう。しかしそ

百世帯に一社の割合で、そのよ

うな熱供給の会社ができれば、工

業大企業が地域で回る。送

電網の必要な発電事業とは違い、

給湯の配管網なら地元で無理なく

いけ的体質から抜け出せない。

松下さんは、脱原発依存のキ

ーワードとして、「地産地消」では

なく、「地消地産」を提唱する。

インフラも整えられる。

過疎地にある原発で大量につく

った電気を、はるかな都会に送り

込むのとは、正反対の考え方だ。

近々、同じ若狭のおおい町で、

電力事業者は、原発再稼働の勢い

に乗り、老朽化した小型原発を

廃炉にし、大型に建て替える計画

を進めている。

ところが、3・11以降、世界的

け入れて、一時的に雇用を生み出

すことはできるだろう。しかしそ

百世帯に一社の割合で、そのよ

うな熱供給の会社ができれば、工

業大企業が地域で回る。送

電網の必要な発電事業とは違い、

給湯の配管網なら地元で無理なく

いけ的体質から抜け出せない。

松下さんは、脱原発依存のキ

ーワードとして、「地産地消」では

なく、「地消地産」を提唱する。

インフラも整えられる。

過疎地にある原発で大量につく

った電気を、はるかな都会に送り

込むのとは、正反対の考え方だ。

近々、同じ若狭のおおい町で、

電力事業者は、原発再稼働の勢い

に乗り、老朽化した小型原発を

廃炉にし、大型に建て替える計画

を進めている。

ところが、3・11以降、世界的

け入れて、一時的に雇用を生み出

すことはできるだろう。しかしそ

百世帯に一社の割合で、そのよ

うな熱供給の会社ができれば、工

業大企業が地域で回る。送

電網の必要な発電事業とは違い、

給湯の配管網なら地元で無理なく

いけ的体質から抜け出せない。

松下さんは、脱原発依存のキ

ーワードとして、「地産地消」では

なく、「地消地産」を提唱する。

インフラも整えられる。

過疎地にある原発で大量につく

った電気を、はるかな都会に送り

込むのとは、正反対の考え方だ。

近々、同じ若狭のおおい町で、

電力事業者は、原発再稼働の勢い

に乗り、老朽化した小型原発を

廃炉にし、大型に建て替える計画

を進めている。

ところが、3・11以降、世界的

け入れて、一時的に雇用を生み出

すことはできるだろう。しかしそ

百世帯に一社の割合で、そのよ

うな熱供給の会社ができれば、工

業大企業が地域で回る。送

電網の必要な発電事業とは違い、

給湯の配管網なら地元で無理なく

いけ的体質から抜け出せない。

松下さんは、脱原発依存のキ

ーワードとして、「地産地消」では

なく、「地消地産」を提唱する。

インフラも整えられる。

過疎地にある原発で大量につく

った電気を、はるかな都会に送り

込むのとは、正反対の考え方だ。

近々、同じ若狭のおおい町で、

</div